

お手入れ時の注意事項

商品を長く使うために、商品に応じたこまめなお手入れと不具合が生じた時の調整が大切です。お手入れしないままで放置すると、表面に付着した汚れは、しみ、腐食やさびの原因となり、他の不具合が発生します。

- 汚れがいたら早めにお手入れしてください。特に海岸地帯や交通量の多い道路沿いは、塩分や排気ガスの影響により、しみ、腐食やさびが進みやすいのでさらにこまめにお手入れしてください。また不具合が生じた場合、調整方法に従って調整してください。調整を行うことにより元に戻ることがあります。

【薬品への配慮】

- 有機溶剤（シンナー、ベンジン、アセトンなど）が表面に付着すると、ひび割れやはがれなどが生じますので、お手入れには有機溶剤を使用しないでください。
- 塩素系薬品（次亜塩素酸ナトリウムを含む漂白剤・カビ取り剤など）が表面に付着したまま放置された場合、表面が変色することがあります。
付着した場合はすみやかに洗い落としてください。



【キズへの配慮】

- 金属たわしやカメノコタワシなどは傷つきやすいので、絶対に使用しないでください。表面にキズがつくおそれがあります。
- 日常の使用に対して十分に耐えますが、砂などがついたままふき掃除をすると、表面にキズがつくおそれがあります。

【電動商品の場合】

- お手入れの時、電装部品に水がかからないようご注意ください。故障するおそれがあります。
電装部品に不具合が生じた場合は、まず商品をお求めの建築業者、工務店または販売店にご相談ください。

【調整する場合】

- 商品の調整に電動ドライバーは使わないでください。
商品の不具合や破損の原因となります。
- 調整に必要な箇所以外のネジをゆるめないでください。
商品の不具合や思わぬけがの原因となります。
- ご自身で調整を行う場合は、本章に記載する方法に従ってください。
ご自身で調整しても不具合が改善されない場合は、まず商品をお求めの建築業者、工務店または販売店、または、当社お客様相談室に修理を依頼してください。

お手入れ方法

アルミ製商品／スチール製商品／樹脂製商品／ アクリル・ポリカーボネート板

■ スチール商品

- ・さび、腐食、色落ちに対する注意が必要です。表面に汚れがついたら早めに洗い落としてください。
- ・玄関ドアの鋼板表面を水や中性洗剤でふいても艶や色あせが改善されない場合は、研磨剤の入っていない鋼板に適したワックス（注1）を使ってお手入れする（注2）ことをお勧めします。

（注1）：（ワックスの一例） セラリカコーティングピュア

（注2）：ワックスを使用する場合には、その用途を確認し、説明書に従ってお手入れしてください。ドア鋼板に適さないワックスは、変色や汚損の原因となりますので使用しないでください。

■ 樹脂製商品

- ・ストーブやアイロンなどの熱源を近づけたり、触れたりすると変形することがありますので、熱源を商品に近づけないでください。
- ・樹脂表面に殺虫剤などの薬剤を塗布・散布し付着しないようご注意ください。薬剤が付着するとひび割れやはがれが発生するおそれがあります。

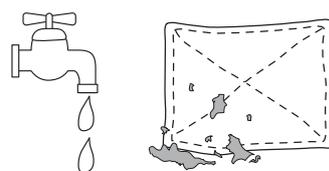
■ アクリル・ポリカーボネート板

- ・有機溶剤を含む、殺虫剤やガラスクリーナーは商品に付着しないようにしてください。ひび割れの原因になります。

■ 通常のお手入れ

1 表面のホコリ・砂を落とす

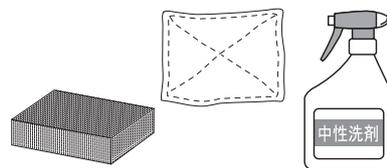
柔らかい布に水を浸し、表面についたホコリ・砂などを洗い落とします。



2 水ぶきする

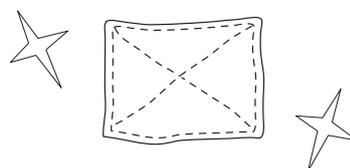
柔らかい布またはスポンジで全体を水ぶきします。

※水ぶきで落ちない場合は、中性洗剤（1～2%の水溶液）で軽く洗い流します。



3 水分をふき取る

乾いた布で、十分に水分をふき取ります。



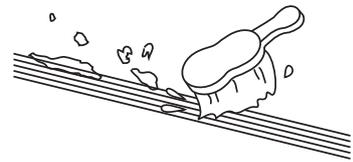
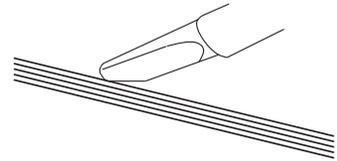
下枠・レール

- 下枠やレールは特に砂、ホコリ、ゴミなどがたまりやすい所です。こまめにお手入れしてください。

1 砂やホコリを吸い取る

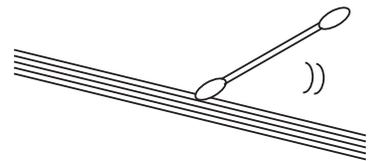
レールのミゾ内部にたまった砂やホコリを掃除機で吸い取ります。

または、柔らかいブラシで砂やホコリを落とします。



2 汚れをふき取る

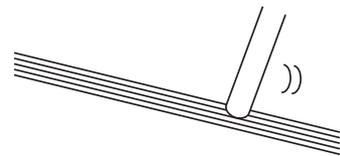
割り箸の先に布を巻きつけ、さらに汚れをふき取ります。



3 ロウを塗って引戸を往復させる

レールにロウなどを塗り、引戸を往復させた後、ロウをふき取ります。

レールと戸車ローラー部分のゴミを取り除くことができます。



網戸

(ネット部分)

- 網戸の取りはずし方・取り付け方は、P.192～P.225を参照してください。

1 ネットを水洗いする

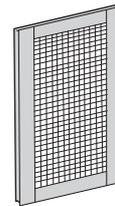
ネットがはずれないように柔らかいブラシやスポンジで軽く押さえるように水洗いします。

※ 汚れが落ちない場合は、中性洗剤（1～2%の水溶液）を使い、軽く洗い流します。



2 水分をふき取る

水分を十分にふき取り、乾燥させます。



スライド網戸

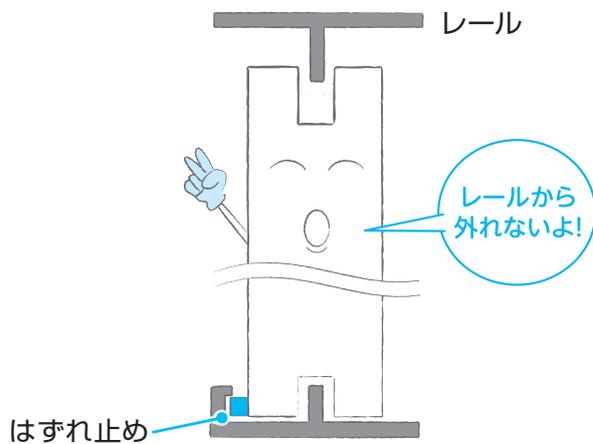
はずれ止めとは

はずれ止めは、強風などで網戸が脱落、落下するのを防止するための部品です。
網戸をはずす時以外は、必ずはずれ止めをセットしてください。

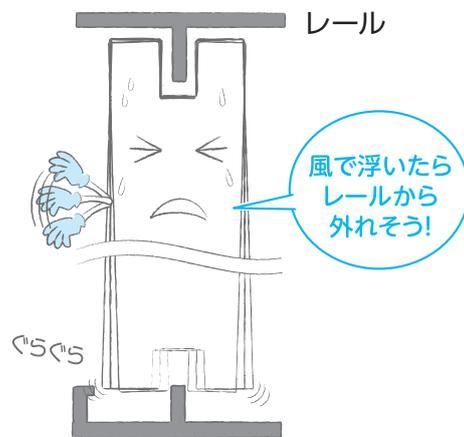
ご使用前に確認してください

- 必ず、P.5「第1章 安全にお使いいただくために」を確認したうえでご使用ください。

はずれ止めがセットされた状態



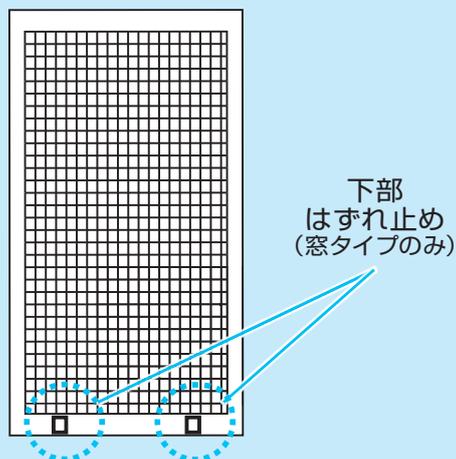
はずれ止めが解除された状態



※はずれ止めの形状は商品によって異なります。

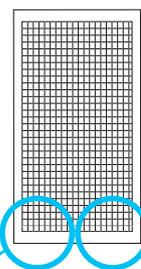
引違い窓、片引き窓、両袖片引き窓の窓タイプの網戸には、下部はずれ止めが付いています。

・窓タイプの場合

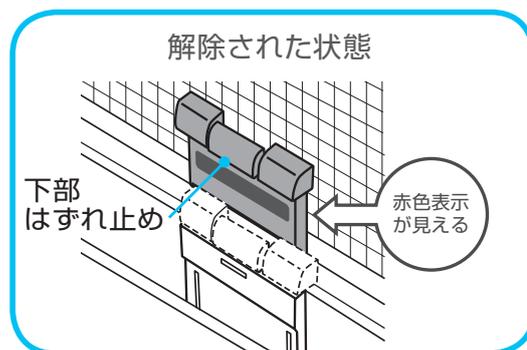
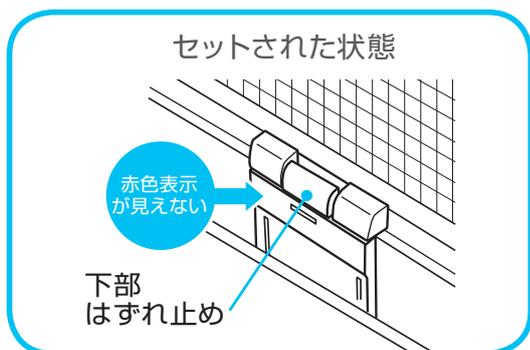


網戸のはずれ止めのセット方法 (引違い窓、片引き窓、両袖片引き窓)

窓タイプのスライド網戸には。室内側に下部はずれ止めが付いています。



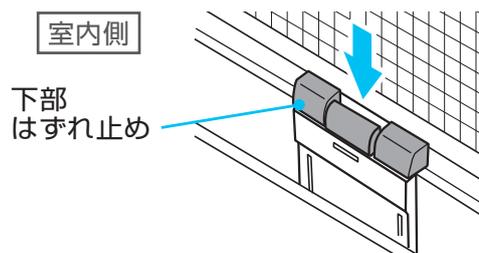
下部はずれ止め(室内側)



1 下部はずれ止めを矢印方向に下げる

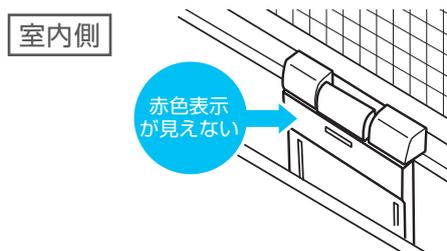
網戸が動かないよう支えながら下部はずれ止めを矢印方向に下げてセットします。

※もう一方も同様の操作を行ってください。



2 赤色表示が見えないことを確認する

※もう一方も同様に確認してください。

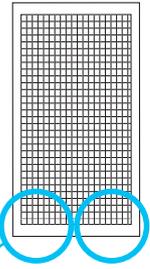


3 網戸がはずれないことを確認する

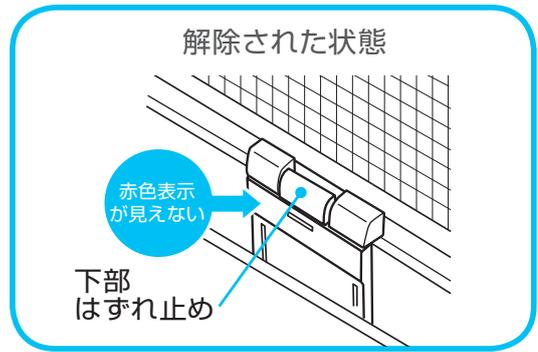
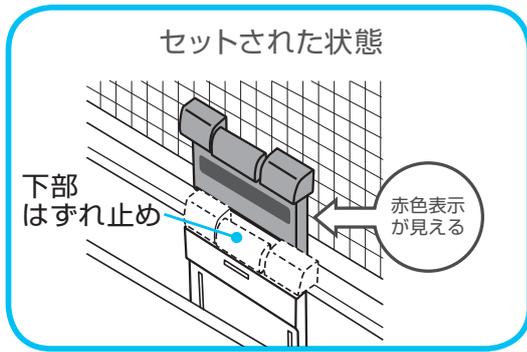
網戸を持ち上げながら内外にゆすり、網戸がレールからはずれないことを確認します。

網戸のはずれ止めの解除方法 (引違い窓、片引き窓、両袖片引き窓)

窓タイプのスライド網戸には。室内側に下部はずれ止めが付いています。



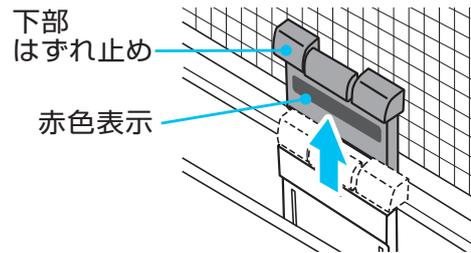
下部はずれ止め(室内側)



1 下部はずれ止めを矢印方向に上げる

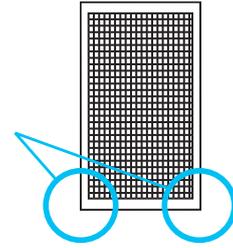
網戸が動かないよう支えながら下部はずれ止めを矢印方向に上げて解除します。

※もう一方も同様の操作を行ってください。



網戸の取りはずし方

ツマミ
(室外側)



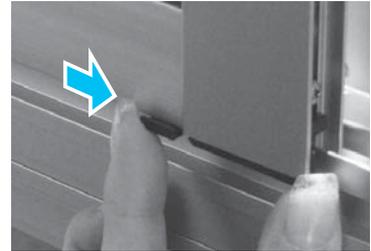
ご使用前に確認してください

- 必ず、P.5「第1章 安全にお使いいただくために」を確認したうえでご使用ください。

1 脱輪防止機構を解除する

室外側にあるツマミを矢印方向に「カチッ」と音がするまでスライドさせます。

※脱輪防止機構が解除されます。



2 はずれ止めを解除する

はずれ止めを全て解除します。

※引違い窓、片引き窓、両袖片引き窓（下部はずれ止め） →P.188

3 網戸をははずす

網戸を両手で持ち上げ、網戸を室外側に押し出して下のレールからはずします。



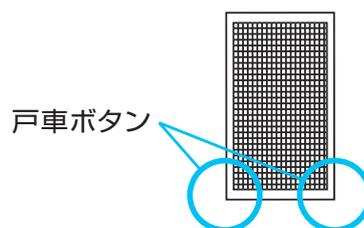
4 網戸を取り込む

室内側に網戸を取り込みます。

- 網戸の持ち替えや、角度を変える際は、網戸を落とさないように注意してください。



網戸の取り付け方



ご使用前に確認してください

- 必ず、P.5「第1章 安全にお使いいただくために」を確認したうえでご使用ください。

1 取り付け前の確認をする

取り付け前に各部の状態を確認します。

- ※はずれ止めが全て解除されていることを確認します。→P.188
- ※戸車のローラーが出ていないことを確認します。
- ※下のレールに小石などの異物がないことを確認します。

2 網戸を室外側に出す

網戸を室外側に出します。

- 網戸の持ち替えや、角度を変える際は、網戸を落とさないように注意してください。



3 網戸を取り付ける

網戸を上レールに合わせて押し上げ手前に引いて下レールにのせます。



4 はずれ止めをセットする

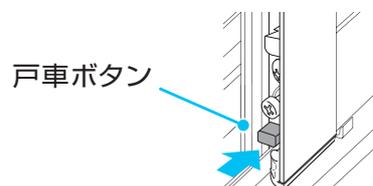
各部のはずれ止めを全てセットします。

- ※引違い窓、片引き窓、両袖片引き窓（下部はずれ止め）→P.187

5 脱輪防止機構をセットする

戸車ボタンを押します。

- ※脱輪防止機構がセットされます



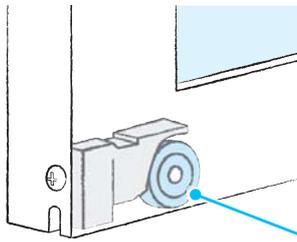
戸車とは

網戸の左右の下枠（内部）にある車輪状の部品で、戸車の高さを変えることで網戸の傾きを調整することができます。網戸がピッタリ閉まらない時に戸車の高さを調整してください。

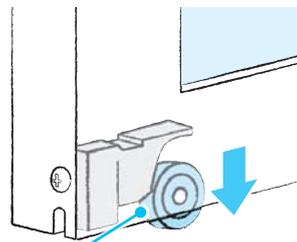
ご使用前に確認してください

- 必ず、P.5「第1章 安全にお使いいただくために」を確認したうえでご使用ください。

戸車が上がった状態



戸車が下がった状態

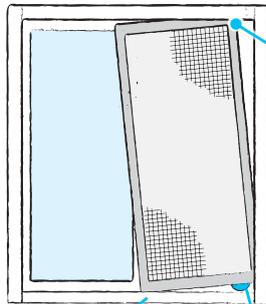


戸車を下げると、
網戸が持ち上がる

※戸車の形状は商品によって多少異なります。

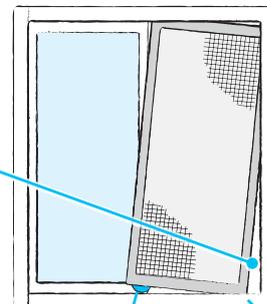
戸車

上にすき間がある場合



すき間

下にすき間がある場合



戸車を
下げる

戸車を
上げる

(網戸が上がる) (網戸が下がる)

戸車を
上げる

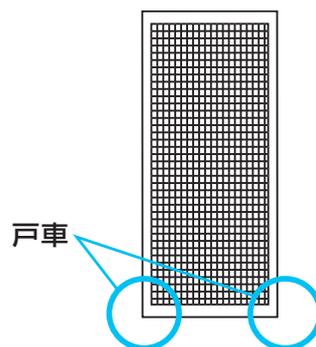
戸車を
下げる

(網戸が下がる) (網戸が上がる)

ピッタリ!!

戸車の調整方法

網戸を閉めてもすき間が開いてしっかり閉まらない場合などは、戸車の高さを調整して網戸の傾きを修正してください。



1 はずれ止めを解除する

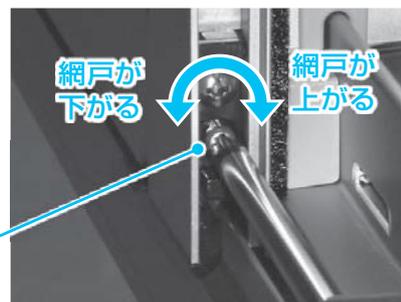
※引違い窓、片引き窓、両袖片引き窓 →P.188

2 調整ネジをまわして戸車を調整する

プラスドライバーで調整ネジをまわして戸車の高さを調整します。

- ・右にまわすと網戸が上がります。
- ・左にまわすと網戸下がります。

調整ネジ



3 はずれ止めをセットする

※引違い窓、片引き窓、両袖片引き窓 →P.187

4 網戸がはずれないことを確認する

網戸を持ち上げながら左右にゆすり、網戸がレールからはずれないことを確認します。